

EAST EDUCATIONアカウント Microsoft 365 組織ID連携

Azure Active Directoryの設定について

2024年6月

前提条件の確認

■Microsoft 365のユーザ管理はActive Directoryで行っていますか？

(旧称 Office 365)

はい

組織IDによる連携が可能です。

Active Directoryの管理者に、この資料を渡してID連携のための設定を依頼してください。

<留意事項>

個人IDと組織IDが混在している環境で、個人IDのユーザの方はこの設定では利用できません。組織IDをご利用ください。

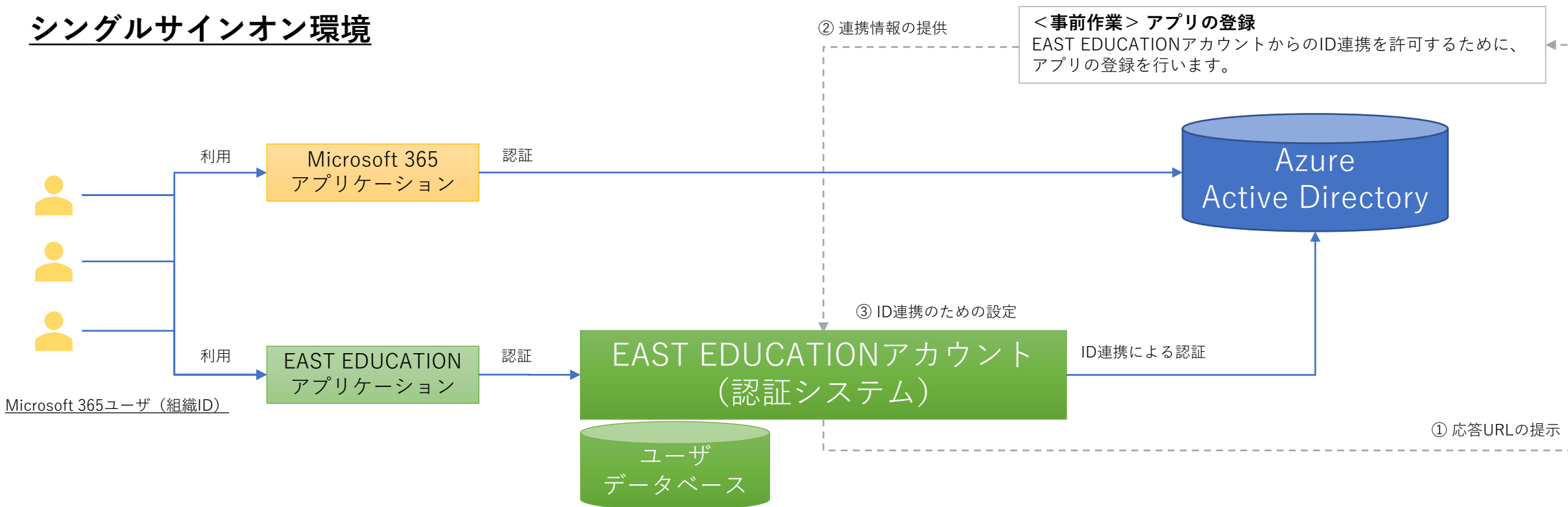
いいえ

組織IDによる連携はできません。

個人のMicrosoftアカウントでの連携となります。この資料に記載されている設定は行えません。

Microsoft 365 組織ID連携に関する全体図

シングルサインオン環境



事前にEAST EDUCATIONアカウントとAzure Active DirectoryのID連携を行うことによって、Microsoft 365ユーザはAzure Active Directoryで認証が行われます。これによってMicrosoft 365ユーザは、Microsoft 365アカウントのシングルサインオン環境で、EAST EDUCATIONアプリケーションを利用できるようになります。

ID連携に伴う設定作業

- EAST EDUCATIONアカウントとお客様のMicrosoft 365アカウント（Azure Active Directoryによる組織ID）をシームレスに連携し、シングルサインオン環境を構築するために、以下の設定作業をお願いします。
 1. Azure Active Directoryへ弊社EAST EDUCATIONアカウントをアプリとして登録してください。
 - 関連ページ：「アプリの登録手順」
 2. 連携に必要な情報をご提供ください。この情報はアプリの登録の一環で取得できます。
 - 関連ページ：「連携情報のご提供について」

アプリの登録手順

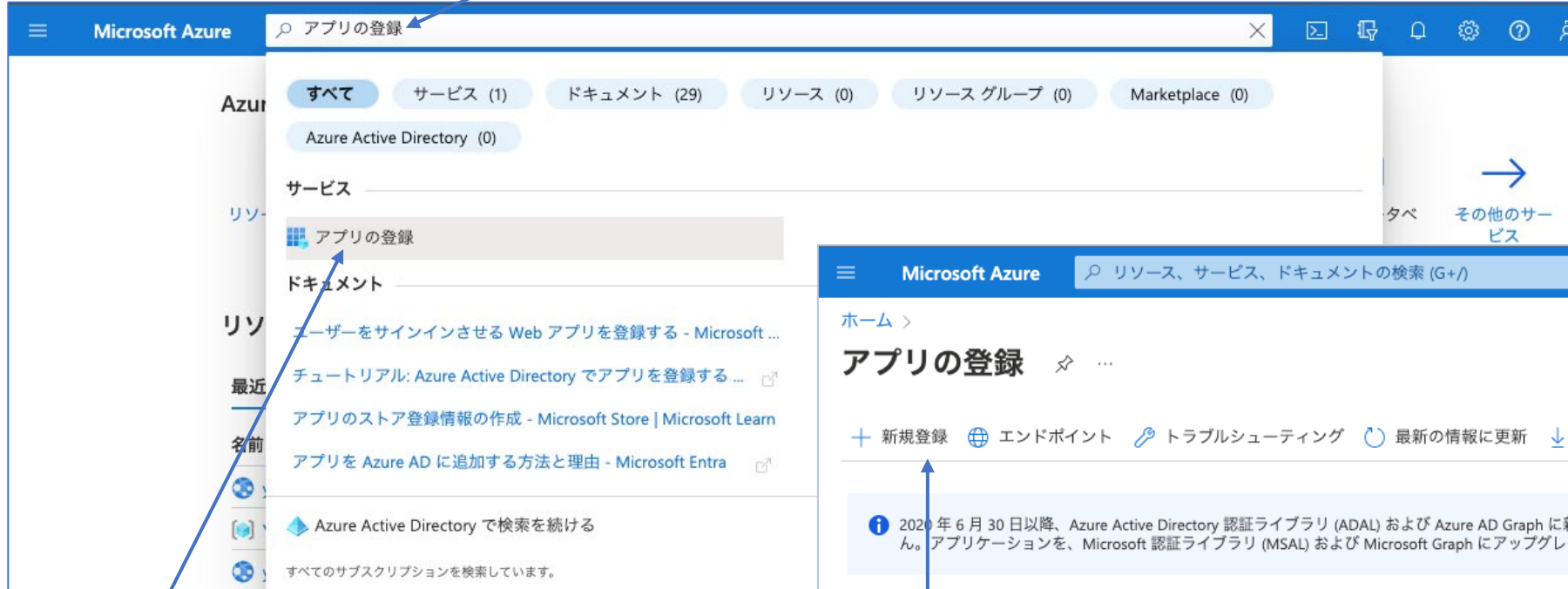
留意事項：

登録手順で示す画面イメージ（UI）は2022年10月時点のAzure Active Directory管理画面です。
今後UIが変更される可能性があります、手順そのものに変更はありません。

UIが変更された場合は、本手順と照らし合わせながらアプリの登録を行ってください。

1. アプリの登録を開始する

(1) 「アプリの登録」と入力して検索します。



(2) 「アプリの登録」をクリックします。



(3) 「新規登録」をクリックします。

2. アプリを登録する

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > 既定のディレクトリ >

アプリケーションの登録 ...

* 名前

このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

EAST-EDUCATION-ACCOUNT ✓

サポートされているアカウントの種類

このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?

☒ この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (既定のディレクトリ のみ - シングル テナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

☐ 個人用 Microsoft アカウントのみ

[選択に関する詳細...](#)

リダイレクト URI (省略可能)

ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web ▼

https://accounts.east-education.jp/auth/xxxxxxxxx/endpoint ✓

作業に使用しているアプリをこちらで登録します。ギャラリー アプリと組織外の他のアプリを [\[エンタープライズ アプリケーション\]](#) から追加して統合します。

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります [🔗](#)

登録

左記の通り設定し、
登録ボタンを押下します。

弊社による連携作業終了後、URLをご案内します。
この時点では、未設定で問題ありません。

3. アプリケーションIDとシークレットを取得する

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

既定のディレクトリ

ホーム > 既定のディレクトリ >

EAST-EDUCATION-ACCOUNT

検索 (Cmd+/)

削除 エンドポイント プレビュー機能

概要

クイック スタート

統合アシスタント

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

へ 基本

表示名 : EAST-EDUCATION-ACCOUNT

アプリケーション (クライアント ID) : 11111111-2222-3333-4444-555555555555

オブジェクト ID : 11111111-2222-3333-4444-555555555555

ディレクトリ (テナント) ID : 11111111-2222-3333-4444-555555555555

サポートされているアカウント : 所属する組織のみ

クライアントの資格情報 : 証明書またはシークレットの追加

リダイレクト URI : 1 個の Web、0 個の SPA、0 個のパブリック クライアント

アプリケーション ID の URI : アプリケーション ID URI の追加

ローカル ディレクトリで : EAST-EDUCATION-ACCOUNT

新しく強化されたアプリの登録へようこそ。アプリの登録 (レガシ) からの変更点を確認することをご希望ですか? 詳細情報

2020 年 6 月 30 日以降、Azure Active Directory 認証ライブラリ (ADAL) および Azure AD Graph に新しい機能はもう追加されません。テクニカル サポートとセキュリティ更新プログラムは今後も提供されますが、機能更新プログラムは提供されません。アプリケーションを、Microsoft 認証ライブラリ (MSAL) および Microsoft Graph にアップグレードする必要があります。 詳細情報

概要 ドキュメント

(1) アプリケーションIDは、EAST EDUCATIONアカウントで連携の接続情報として利用します。

ご提供ください。

(2) ここをクリックしてシークレットを取得する画面に遷移します。

4. シークレットを追加する

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)

既定のディレクトリ

ホーム > 既定のディレクトリ > EAST-EDUCATION-ACCOUNT

EAST-EDUCATION-ACCOUNT | 証明書とシークレット

検索 (Cmd+/)

フィードバックがある場合

概要

クイック スタート

統合アシスタント

管理

ブランド化とプロパティ

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリ ロール

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) クライアント シークレット (0) フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。

新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値 ①
このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。		

クライアント シークレットの追加

説明easteducation

有効期限24 か月

(2) 説明：「easteducation」と設定します。

(3) 有効期限：「24か月」を選択します。
※現在24か月が最長の設定期限です。

(4) 追加ボタンを押下します。

追加キャンセル

(1) 「新しいクライアントシークレット」をクリックします。

5. シークレットを保管する

EAST EDUCATION

- 概要
- クイック スタート
- 統合アシスタント
- 管理**
 - ブランド化とプロパティ
 - 認証
 - 証明書とシークレット**
 - トークン構成
 - API のアクセス許可
 - API の公開
 - アプリ ロール
 - 所有者
 - ロールと管理者 | プレビュー
 - マニフェスト
- サポート +トラブルシューティング
 - トラブルシューティング

EAST EDUCATION-Account | 証明書とシークレット

検索 (Cmd+/) フィードバックがある場合

お時間があれば、フィードバックをお寄せください。 →

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) クライアント シークレット (1) フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値①	シークレット ID
easteducation	2024/1/31	xx	11111111-2222-33333-4444-555555555555

ここに表示されたシークレットは、1度しか表示されません。
このタイミングで安全な場所に保管するようにしてください。
このシークレットは、EAST EDUCATIONアカウントで連携の接続情報として利用しま

6. エンドポイント情報を取得する

(1) 「概要」をクリックします。

(2) 「エンドポイント」をクリックしてダイアログを開きます。

The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface. On the left, the '概要' (Overview) tab is selected in the left-hand navigation pane. The main content area displays the 'エンドポイント' (Endpoints) dialog for the application 'EAST-EDUCATION-ACCOUNT'. The dialog lists several endpoints with their corresponding URLs and a 'クリップボードにコピー' (Copy to clipboard) button for each. The endpoints listed are:

- OAuth 2.0 承認エンドポイント (v2): `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/oauth2/v2.0/authorize`
- OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v2): `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/oauth2/v2.0/token`
- OAuth 2.0 承認エンドポイント (v1): `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/oauth2/v1.0/authorize`
- OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v1): `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/oauth2/v1.0/token`
- OpenID Connect メタデータ ドキュメント: `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/.well-known/openid-configuration`
- Microsoft Graph API エンドポイント: `https://graph.microsoft.com`
- フェデレーション メタデータ ドキュメント: `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/federationmetadata/2007-06/federationmetadata.xml`
- WS-Federation サインオン エンドポイント: `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/wsfed`
- SAML-P サインオン エンドポイント: `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/saml2`
- SAML-P サインアウト エンドポイント: `https://login.microsoftonline.com/11111111-2222-33333-4444-555555555555/saml2`

Annotations on the image include:

- Blue arrows pointing from the text instructions to the '概要' and 'エンドポイント' tabs.
- A blue bracket grouping the OAuth 2.0 endpoints, with a callout box containing the instruction: (3)以下の2つの情報を保管します。この情報はEAST EDUCATIONアカウントで連携の接続情報として利用します。
- An orange box with the text 'ご提供ください。' (Please provide.) pointing to the Microsoft Graph API endpoint.

連携情報のご提供 について

アプリの登録作業の一環で取得した以下の4つの情報をご提供ください。

1. アプリケーションID
 - 関連ページ：「3. アプリケーションIDとシークレットを取得する」
2. クライアント シークレット と その有効期限
 - 関連ページ：「5. シークレットを保管する」
3. OAuth 2.0 トークンエンドポイント (v2)
 - 関連ページ：「6. エンドポイント情報を取得する」
4. OAuth 2.0 承認エンドポイント (v1)
 - 関連ページ：「6. エンドポイント情報を取得する」

今後の流れについて

